

# 大阪女性の未来創造会議 in ナレッジキャピタル ～参加者一覧～

敬称略・順不同

## ◇基調講演 登壇者



**森 まさこ(もり・まさこ)**

参議院議員、前女性活力・子育て支援担当大臣

福島県いわき市生まれ。東北大学法学部卒。1995年弁護士登録。1998年、森雅子弁護士事務所を設立し、翌1999年、出産したばかりの長女を連れてニューヨーク大学ロースクールに留学。2000年国連女性の地位委員会日弁連代表。帰国後、金融庁勤務を経て2007年参議院議員選挙に出馬、初当選。2012年12月、第2次安倍内閣で国務大臣(女性活力・子育て支援担当)に任命され初入閣。

## ◇会議参加者

起業家・就業者・未就業者の女性の方々



**大川 陽子(おおかわ・ようこ)**

大阪市女性起業家情報交流協会 副会長 大川会計事務所代表

大阪市女性起業家情報交流協会の今期定例事業として、『女性のための「起業と経営」情報交流会』を月1回ペースで運営。毎回定員を超える参加申し込みがあり、力強い女性のパワーを感じている。個人としては、大阪市内で税理士事務所を経営。一児の母。子どもが小学二年の時に夫の急逝し、専業主婦から開業税理士に大変身して、まもなく10年。



**森田 祥子(もりた・さちこ)**

株式会社テラス 代表取締役

大学卒業後、新日本監査法人、㈱シャネルを経て、2007年婦人靴輸入販売業として㈱Terrace創業。アパレルブランドでの仕事を通じて、ぴったり合った良い靴は、ヒールでも痛くないことを知り、多くの女性に本当の履き心地を知ってもらいたいと独立。リペア施設併設店舗を展開し、女性の素敵な毎日を足元からサポート。2008年全国商工会議所女性会連合会第7回女性起業家大賞スタートアップ部門優秀賞受賞。2009年大阪市きらめき企業賞受賞。2014年あべのハルカスに2号店オープン



**古賀 寛子(こが・ひろこ)**

バイエル薬品株式会社 プロダクトサブライジャパン本部  
コミュニケーションマネジャー

日系の電子機器メーカー勤務(海外営業事業部)を経て、1994年、バイエル薬品株式会社に転職。研究所、工場勤務を経て、現在は、本社にて、同本部のコミュニケーションマネジャーとして、部門内のマネジメントサポート・組織開発を担当。2005年に、男児を出産後、約1年の産休・育児休業ののち復職。



**池田 依子(いけだ・よりこ)**

運輸業・事務職

一部上場・運輸会社に一般職として勤務。1996年4月、短大卒業と共に現在の会社に入社。輸出入一貫輸送等を行う部署に16年間在席し、実務を担当。2年前に総務部に異動。現在に至る。一方で、一昨年よりクレオ大阪中央「お仕事女子の放課後サロン」にてサポーターを務めるなど、社外での活動にも積極的に参加している。

起業家・就業者・未就業者の女性の方々

企業・経済団体



**米澤 麻実(よねざわ・まみ)**

クレオ大阪セミナー受講者

東京出身。法律事務所の秘書勤務を経て、表参道の老舗アロマサロンにてアロマセラピスト兼広報、スクール講師として働く。併せて休日に自宅サロン開設。結婚を機に大阪に移り、2013年出産。現在専業主婦で、働き方を模索中。



**木場 安莉沙(こば・ありさ)**

大阪大学 言語文化研究科言語文化専攻修士課程1年

大阪大学にて社会言語学を学ぶ。また研究科と別に大学実施のプログラムにて様々な人々による共生社会の実現についても学んでいる。幼い頃から身近なジェンダーロールへの疑問を抱いて生きてきたことから、特にジェンダー・セクシャリティー諸問題に関心を持つ。今回の会議では、様々な立場の方々や男女観やそこに見られる問題を共に考えるまたとない機会であり、非常に楽しみにしている。



**中井 佑美(なかい・ゆみ)**

大阪教育大学 3年生

大学では人間科学専攻に所属しており、主に「大人が学び続ける」という生涯学習について学んでいる。今年8月に、大阪市立男女共同参画センター(クレオ大阪)でのインターンシップに参加。さまざまな業務を体験し、今は「母親の両立支援」や「男女共同参画に対する社会の理解」などの問題に関心を持つ。



**生駒 京子(いこま・きょうこ)**

株式会社プロアシスト 代表取締役

大学卒業後、大手ソフトウェア会社勤務、専業主婦を経て、1994年、有限会社プロアシストを設立し代表取締役となる。2001年、株式会社に改組し現在に至る。2013年 内閣府「女性のチャレンジ賞 特別部門賞(テーマ:女性活躍企業リーダー)」受賞。企業として「大阪ものづくり優良企業賞2008」、「大阪市きらめき企業賞」を受賞。また「経済産業省 がんばる中小企業・小規模事業者300社」に選出される。



**梅 千得(ばい・ちえる)**

ワンゲイン株式会社 代表取締役社長

非常用電源の開発、インバーターの輸入卸販売業。いったん家庭に入ったものの、かつては企業の第一線で活躍していた女性を即戦力人材として積極的に採用し、電気製品の実験・実証、顧客の開拓等、幅広い業務に女性を積極的に登用。2003年の会社設立以来、社員一人一人が企業の社会的責任の重要性を理解し、行動することが重要と考え、CSR活動に積極的に取り組む。その活動が認められ、2012年度「大阪市きらめき企業賞」を受賞。



**樋口 友夫(ひぐち・ともお)**

株式会社天彦産業 代表取締役社長

創業1875年の特殊鋼、ステンレス等の製造卸。2005年に社長に就任。社員のやり甲斐なくして会社は存続しないと考え、社員の自己実現を図る活動を開始。女性のチーム「TWS(天彦ウェーブセルス)」では、語学力の高い女性によるインターネットを活用した海外顧客戦略を展開し、売上比率を15%から30%へ倍増させた。女性の働く意欲も向上し、女性の平均勤続年数が飛躍的に伸びる。12年「ダイバーシティ経営企業100選」(経済産業省)に選ばれる。



**中野 奈津美(なかの・なつみ)**  
株式会社高島屋 執行役員 人事部長

日本橋店美術部への配属を皮切りに、その後、企業を対象とした法人営業、広報室や社会貢献室にて企業文化の発信や社会貢献活動を担当。企画室での販売・サービスの指導や、販売促進部門での文化催の企画を経験し、2012年に人事部副部長に就任。2013年より現職。



**北村 安彦(きたむら・やすひこ)**  
大和ハウス工業株式会社 人事部Waveはあと推進室室長

立命館大学卒業。大和ハウス工業に入社後、本社総務部にて12年間勤務後、千葉支店、東京本社、本社連結経営管理部、奈良工場と一貫して総務・人事畑を経験。東京では広報も兼務。2012年4月から現職。



**西村 佳津子(にしむら・かづこ)**  
大阪府中小企業家同友会 女性部幹事長  
株式会社ロッコー取締役営業本部長兼南大阪営業所長

幼稚園教諭を経て結婚。出産後に離婚。生きるため・娘のために事務職としてロッコーに入社。のちに営業職に移動。休むことなく仕事と子育てを両立。営業所所長・取締役となり現在に至る。また、理念経営を目指し大阪府中小企業家同友会に入会。昨年は実行委員長となり女性経営者全国交流会を開催。800名の参加者が集い学びあう機会を得る。大阪市きらめき企業賞受賞。



**田中 亜希(たなか・あき)**  
在日米商工会議所ウィメン・イン・ビジネス委員会—関西共同委員長  
北浜法律事務所・外国法共同事業 弁護士

2003年3月京都大学法学部卒業。2004年に弁護士登録し、同年に北浜法律事務所に入社。2012年1月よりパートナーに就任。国際労働、国内労働、ビジネス法務一般に従事。2012年からInter Pacific Bar Association Employment committee Vice Chair(環太平洋法律家協会雇用委員会副委員長)、2013年からは在日米商工会議所 関西ウィメン・イン・ビジネス委員会—関西 共同委員長を務める。



**松井 伊代子(まつい・いよこ)**  
大阪商工会議所 人材開発部次長

大阪大学卒業後、大阪商工会議所に入社。商学修士。「できる！わかる！かわる！」をキャッチフレーズに年間約120本に及ぶ企業人材育成研修を企画運営している。2014年度から、大阪・関西の成長戦略である「千客万来都市OSAKAプラン」における新プロジェクト「企業における女性の発掘・戦力化支援事業」も担当している。

**森實 久美子(もりざね・くみこ)**  
大阪労働局 雇用均等室室長

旧労働省に入省後、外国人雇用対策、国際関係業務、女性労働対策などを担当。その他、他省庁、団体への出向などを経て、2013年7月、厚生労働省の出先機関である大阪労働局に転勤。男女雇用機会均等法、育児・介護休業法などの施行業務を行う雇用均等室の室長として勤務。



**高 亜希(こう・あき)**  
特定非営利活動法人ノーベル 代表理事

関西学院大学卒業後、JTB・リクルートに勤務。子育てを理由に退職する同僚から、子育てと仕事の両立の難しさ、病児保育問題を知る。病児保育の先駆けであるNPO法人フローレンスで修業後、ノーベルを立ち上げ、10年2月から関西初となる共済型・地域密着型病児保育事業をスタート。12年(財)日本病児保育協会の理事に就任。「子どもを産んでも当たり前に働き続けられる社会」を目指し、ひとり親向け病児保育支援や行政との協働も積極的に取り組んでいる。



**石井 麻優子(いしい・まゆこ)**  
特定非営利活動法人mamaコム 副代表

都島区の妊婦や子育て中の母親、そして子どもたちのために楽しく、ハッピーに暮らせるような地域社会をつくることを目的とする団体を運営。みんなで楽しめるハロウィンやクリスマスイベント、子育てに役立つベビーマッサージやベビーマッサージ、ベビードダンスなどの教室のためのお部屋貸し、小さな子どもさんがいても働ける場の提供、食物アレルギー啓発事業などを行っている。



**金澤 真理(かなざわ・まり)**  
大阪市立大学 法学研究科教授 女性研究者支援室長

大阪市立大学法学研究科教授。刑事法専攻。未遂犯論、社会内処遇論を研究。著書「中止未遂の本質」、「〈市民〉と刑事法」(共著)等。主に女性を被害者とする犯罪に関する研究として、「刑法の基本理念から見たストーリー規制」(法と民主主義483号)、「ドイツの強制結婚禁止法」(大阪市立大学法学雑誌60巻3-4号)等。2013年から大阪市立大学女性研究者支援室長。



**佐野 由美(さの・ゆみ)**  
公益財団法人21世紀職業財団 関西事務所 所長

同志社大学卒、敷島紡績(現・シキボウ)に入社。女性活躍推進プロジェクトリーダー、教育インストラクター等を務め同社初の女性主事に昇格。その後関西経営者協会(現・関西経済連合会)で人と組織活性化の調査研究・コンサルティング。企業や大学、公的機関での講演、NHK報道番組「はんなりウーマン」出演、新聞コラム等を執筆。14年4月現職。13年8月大阪市特別参与に就任。関西経済連合会ダイバーシティ研究会アドバイザー。



**今井 愛子(いまい・あいこ)**  
大阪市 市民局 女性活躍促進担当部長

大阪市旭区福祉事務所に配属され、障害者、高齢者、児童福祉等を担当。その後、小児保健センター(現在は総合医療センターに統合された小児専門病院)の医事、経理担当、クレオ大阪北の相談コーディネーターを経て人権室に。大阪市人権行政推進計画〜人権ナビゲーション〜策定などに携わる。2013年10月より現職。女性がその能力を十分に発揮し、活躍できる都市大阪をめざした女性の活躍促進やドメスティック・バイオレンス対策等も含めた男女共同参画施策全般を担当している。



**楳村 久子(まきむら・ひさこ)**  
一般財団法人大阪市男女共同参画のまち創生協会 理事長

農学博士。新聞記者等を経て、奈良文化女子短期大学教授、奈良県立商科大学教授・図書館長などを歴任、2000年より京都女子大学現代社会学部教授、2013年より京都女子大学宗教・文化研究所客員教授。2001年よりクレオ大阪(大阪市立男女共同参画センター)研究室室長。2012年より(一財)大阪市男女共同参画のまち創生協会理事長。2013年6月より大阪市特別顧問(女性の活躍促進関係)。